

ジーエフケー マーケティングサービス ジャパン株式会社
代表取締役社長 朝比奈 進
問い合わせ先: 経営企画室
茶野 絢子
(TEL: 03-5350-4632)

携帯電話市場: 多機能端末の販売が好調 数量構成比は初めて50%超を記録

ジーエフケー マーケティングサービス ジャパン株式会社(東京: 中野区)は、家電量販店における携帯電話の販売動向を発表した。

【概要】

- ・2011年4月第1週、多機能端末(※)の販売数量構成比は、はじめて過半数に達した。
 - ・従来の携帯電話の販売増に後押しされ、2011年3月第4週の携帯電話全体の販売数は過去2年間で最多を記録。
- (※多機能端末: 携帯電話のうちiPhone OS、Android、Windows Mobile、RIMのいずれかを搭載したモデル)

【多機能端末は50%超、全体も過去最高を記録】

4月第1週(3月28日～4月3日)における多機能端末の数量構成比は50.1%となり、初めて携帯電話全体の過半数を占めた(図1)。昨年後半にAndroid搭載モデルのラインナップが拡充されたのに加え、3月に注目の新モデルが発売されたため販売台数が大幅に増加した。今後も複数の新モデルの発売が予定されており、引き続き多機能端末の構成比は高まると予想される。

また、携帯電話全体における3月第4週(3月21日～3月27日)の販売数量は過去2年間で最高の水準となった(図2)。これまで多機能端末に押されて減少が続いていた従来の携帯電話の販売が増加したことが大きく寄与した。

これら携帯電話・多機能端末の好調の背景には、震災の影響が少なからずあったと考えられる。災害時における通信機器の重要性が再認識され、バッテリー寿命が短くなっている端末の買い換えが促進されたと推測される。

携帯電話は、TVやラジオなどの「情報を受信する機器」としての有用性だけでなく、TwitterやFacebookなどを通じ「情報を発信する機器」としても認識されたため、今後、万一に備えた機種変更や買い増し需要が増加すると予想される。

図1: 携帯電話・多機能端末の数量構成比

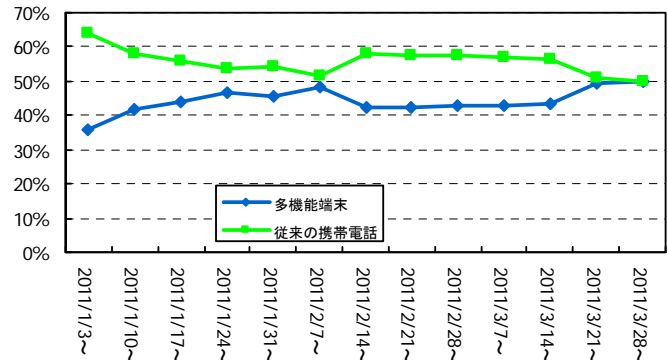


図2: 携帯電話全体の週間販売数量推移

